

# SDGs官民連携による大宮公園の魅力アップ

## 【背景・課題】

大宮公園は、1885(明治18)年の開園の130年を超える歴史ある公園。その価値をより高め広めていく必要がある。

一方、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力創出が課題。



平成30年にアオコが大量発生した舟遊池

## 【課題解決に向けて】

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム内に「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会『都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会』を設置。

官民連携で舟遊池の水質改善と自然環境の再生・保全を図るとともに新たな賑わい創出に取り組んでいる。

# SDGs官民連携による大宮公園の魅力アップ

## 都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会 (大宮公園グループ) 参加企業・団体 (令和5年5月末現在)

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社



埼玉県スマートまちづくり

一般社団法人  
埼玉県スマートまちづくり

Sin × Planning

株式会社シンプランニング



大宮アルディージャ

武蔵野銀行

株式会社武蔵野銀行



国際ロータリー第2770地区第3グループ  
国際ロータリー第2770地区

レンタルのニッケン

株式会社レンタルのニッケン

今日も明日もどっど。  
毎日興業株式会社

毎日興業株式会社

学研スタディエ

株式会社学研スタディエ



埼玉りそな銀行

株式会社埼玉りそな銀行



泰輝印刷株式会社

Vixen®

株式会社ビクセン



JAKUETS

株式会社埼玉ジャクエツ



一般社団法人  
キャリアチャレンジ  
総合研究所

一般社団法人  
キャリアチャレンジ総合研究所



一般社団法人  
職ノ社



公益社団法人  
さいたま観光国際協会



ミュージアムビレッジ大宮公園

GSR Consulting

GSRコンサルティング株式会社



MET Design Home 株式会社



積水ハウス建設関東株式会社

積水ハウス建設関東株式会社



GOKIN  
die-cast  
products  
株式会社ゴークン



学校法人  
芝浦工業大学

学校法人芝浦工業大学

公益財団法人  
埼玉県公園緑地協会

公益財団法人  
埼玉県公園緑地協会



ブロケイダ合同会社

# SDGs官民連携による大宮公園の魅力アップ

## 令和4年度「かいぼり」とその後の「大宮池守」による水辺再生・保全

10月3日から



11月3日、4日  
大掻掘まつり



3月まで



3月末から



今後も…

- ・外来種駆除
- ・草刈り
- ・普及啓発

様々な活動を実施予定！



# SDGs官民連携による大宮公園の魅力アップ

## 令和5年度 ボート事業復活に向けた取組

<スケジュール>

令和4年度

令和5年6月

8月

秋以降

県主体

- 自然再生・保全活動
- 普及啓発

かいぼり (10/1~3/25)  
浅場づくり (12~3月)

- 「大掻掘まつり」(11/3,4)

「大宮池守」による自然再生・環境保全活動  
(浅場管理、外来種駆除、草刈り等)

※ボート復活後も継続

- SDGs普及啓発イベント(7/7-8)
- ※プレイベント(6/24)

舟遊池

自然再生・保全

ボート事業復活

ボート事業復活

事業者公募・決定

施設整備

民間主体

- その他関連する取組

大宮公園フォトコンテスト (6/24~11/30)

- 防災キャンプイベント  
(9/30,10/1) 等

日時 令和5年7月7日(金) 11時～20時30分

参加自由

会場 しゅうゆういけ  
大宮公園舟遊池、自由広場

主催 埼玉県 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム「埼玉の水とみどりを守り育む」分科会  
都市公園における持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会

目的 舟遊池の自然再生・保全、生物多様性の回復の取組や  
ボート事業復活の普及啓発

- 内容
- 「大宮池守」による自然再生の取組紹介
  - ボート事業復活に向けたPR  
(AR(仮想現実)を活用したボート風景の視覚体験)
  - 廃油でキャンドルナイト
  - 再生利用可能な和紙を使用した短冊づくり など



# 医療的ケア児等支援センターの拡充について

## 医療的ケア児支援の現状と課題

市町村における専門人材の不足、医療的ケア児支援経験の不足、保育所等における受入事例が限られているなどの課題がある。

▶ 令和5年1月 医療的ケア児等支援センター開設

医療的ケア児等



医療的ケア児等支援センター

地域センター

本人・家族の相談窓口

家族支援

市町村・支援機関への支援

地域内の支援体制の整備

地域センター かけはし



委託先  
社会福祉法人埼玉医大福社会（川越市）

県センター

人材育成・専門人材の確保

支援事例・事業所データの集積

県全体の支援体制の整備

県直営



（さいたま新都心）

6月8日

地域センターを増設

# 地域センターの新体制（6月8日から）

**新設** 地域センター たいよう 担当 北部

電話：0493-39-1114

委託先：社会福祉法人清風会（熊谷市）

**新設** 地域センター ともしも 担当 東部

電話：048-748-5059

委託先：社会福祉法人ともしも福祉会（春日部市）

**既設** 地域センター かけはし 担当 西部

電話：049-225-5770

委託先：社会福祉法人埼玉医大福祉会（川越市）

**新設** 地域センター カリヨンの杜 担当 南部

電話：048-797-6671

委託先：社会福祉法人桜楓会（さいたま市）

※6月7日まで全県の相談を受付

# 医療的ケア児等支援センターでの支援例

- 令和5年1月～4月 医療的ケア児等支援センターの相談件数 96件
- 支援例① 『夜間に自宅でたん吸引のケアを受けられないか』
  - ➡ 複数の事業所に直接電話し、夜間対応が可能か確認し情報提供。
- 支援例② 『学校に看護師を配置してほしい』
  - ➡ 具体的に必要なケアを確認した上で、市町村教育委員会と調整。

➡ 令和5年6月8日 新たな地域センターでの相談受付開始

